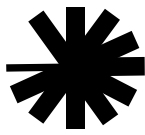


2021年  
10月号



【毎月1回発行】

# 原水協通信 (大阪版)

原水爆禁止大阪府協議会 第932号

電話 06 (6765) 2552

FAX 06 (6765) 2837



〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目

3番4号新谷町第3ビル210号

## 核兵器廃絶国際デー！地域宣伝を展開

大阪原水協は、核兵器廃絶国際デーに先立ち、9月24日午後6時より天王寺駅北口にて宣伝行動を行いました。また、世界気候アクションでもあり、そのことも重ねて訴えました。



西淀川原水協から  
核兵器禁止条約批准を求める9・22スタンディング行動の報告



核兵器禁止条約の批准を求めるスタンディング行動（毎月22日に実施）を、9月22日（水）午前11時から30分間、阪神出来島駅前業務スパー前で行いました。これにはスマイルにしようの組合員を含む11名が参加し、「核兵器禁止条約を批准する政府をつくらう」とスタンディングしました。また、核兵器禁止条約の批准と求める署名も7筆集まりました。

### 核兵器禁止条約に参加する政府の実現のために！6・9行動を起点に日本を変える大宣伝を！



自民党総裁選も終わり、いよいよ総選挙が目前に迫りました。今度の選挙は国民の命を守る政治の実現、核兵器禁止条約への参加に道を開く歴史的なチャンスです。そのためにも、10月の6・9行動を起点に、すべての国民に声を届かせる行動を展開していきましょう。

裏面のアピールを参照してください。  
宣伝グッズとして日本原水協は左記のじゃばらポスター（有料）を作成しました。

☆ 核兵器禁止条約の署名・批准を求める 署名の到達

9月22日の到達 **57,763** 筆

大阪原水協は、毎月22日を集約日としています。  
各団体・地域原水協・個人より報告をお願いします。  
FAX 及び署名の郵送等お願いします。

「署名批准を求める意見書決議は、609自治体に！9/30」

### ※お知らせ

原水爆禁止大阪府協議会

第59回総会

日時：2021年11月25日（木）

18：30～20：00

場所：社会福祉会館301号室



原水爆禁止大阪府協議会より  
カレンダー普及のお願い！

いわさきちひろカレンダーは、1975年（76年版）以来、46年にわたって核兵器廃絶と被爆者援護・連帯の輪を広げています。

2022年版カレンダー表紙「1968年あかいふうせん」より1976年、「ベトナムにヒロシマ・ナガサキをくり返させるな」と「核兵器廃絶、被爆者援護・連帯のちひろカレンダー」が生まれ

ました。

すべての子どもたちが平和で未来にむかって歩めることを願います。愛と平和メッセージのいわさきちひろカレンダーを広げてください。今年

「枯葉剤被害者支援」と「被災地へカレンダー贈呈」を行います。寄せていただいた募金でカレンダーを被災地の方へ届けます。

子どもたちの未来に戦争のない、核兵器のない世界を手渡そうという願いと、子どもたちへの限りない愛を込めた、いわさきちひろさんの作品による【ちひろカレンダー】をみなさんの手から手へ、さらに多くの方へ伝え広げましょう。

● 頒価1540円（税込）  
※25本以上送料無料

### 総選挙に向けてのアピール

核兵器廃絶を願う全国のみなさん、総選挙が目前に迫りました。コロナ禍で国民の命と日本の未来がかかった選挙です。同時に、核兵器禁止条約に背を向けてきた自公政治を転換し、日本の禁止条約参加に道をひらく歴史的な選挙でもあります。ことし1月、被爆者とともに私たちが求めてきた核兵器禁止条約が発効し、史上はじめて核兵器が国際法として禁止されました。世論調査では日本の国民の7割が条約への参加を求めています。「署名も批准もしない」と国民多数の声に背を向け続ける自民党、公明党に、これ以上、被爆国の政権をまかせるわけにはいきません。来るべき総選挙で政権交代を実現し、核兵器禁止条約の参加をめざす新しい政権を実現しましょう。私たちは、野党4党（立憲民主党、日本共産党、社会民主党、れいわ新選組）が9月8日に合意した、総選挙における野党共通政策を心から歓迎します。合意文書は、「憲法に基づく政治の回復」「新型コロナウイルス対策の強化」「格差と貧困の是正」「地球環境を守るエネルギー転換」「ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会」「公平で透明な行政の実現」の6つの柱の政策を「共有して戦い」「実行する政権の実現をめざすこと」を表明しました。そして、第1の柱では「核兵器禁止条約の批准をめざし、まずは締約国会議へのオブザーバー参加に向け努力する」ことを明記しました。被爆国であり、アメリカと軍事同盟を結ぶ日本の政権が、「禁止条約の批准をめざす」ことになるならば、画期的です。核兵器廃絶の世界の流れにも、緊張が高まる北東アジアの平和と安全にも大きな変化をもたらすに違いありません。みなさん。いまこそ思想・信条を超えて、核兵器禁止条約への日本の参加を求める国民的な世論を築きましょう。「日本政府に核兵器禁止条約への署名と批准を求める署名」（禁止条約参加署名）を地域ぐるみ、自治体ぐるみで発展させましょう。市民と野党の共闘をさらに前進させ、被爆国にふさわしい政権を実現しましょう。そして日本政府が一刻も早く核兵器禁止条約に参加することを求め、世論と運動をひろげていきましょう。そのためにも、総選挙では「核抑止力」論から脱却し、禁止条約への署名・批准をかかげた勢力が大きく伸びる必要があります。「市民と野党の共闘で禁止条約に参加する政府を！」「禁止条約への参加を求める勢力の躍進を！」との訴えを全国にひろげ、歴史的一步をしるすために全力をつくしましょう。